

04 Lifestyle

男たちよ
目覚めなさい

イラスト/ユリコフ・カワヒロ

格差に対する
鈍感な致命傷
となることに
目覚めなさい

人

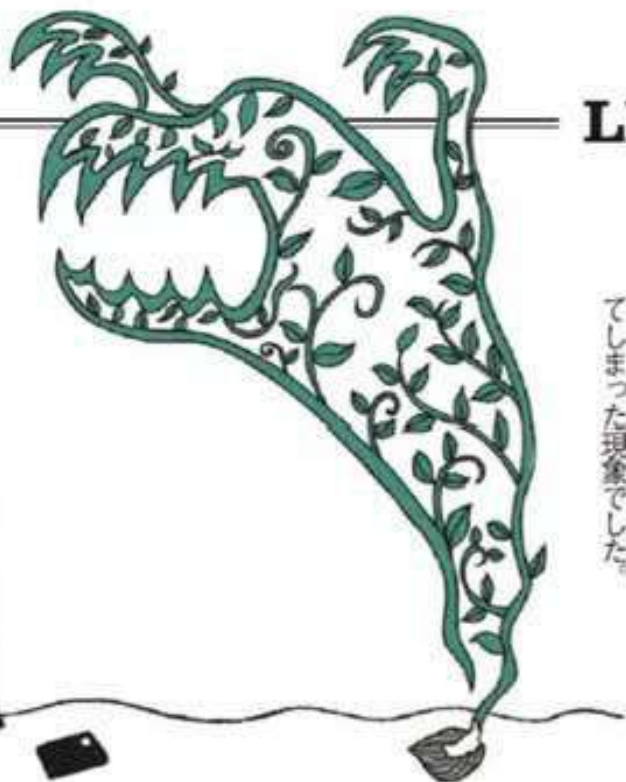
気絶頂と思われていたテレビコメンテーターのある女性、配役者のビジネスストラブルを機に出演見合わせが続ぎ、パッシングの嵐に見舞われました。

全方向からの批判や嘲笑は、単に直接のトラブルに関連したものにとどまりませんでした。肩書き、政府関係機関との蜜月、問題の渦中にある宗教団体に対する過度な権限に関する疑問などがずるずると引き出され、少なからぬ方がここぞとばかり、「前からいぶかしいと思っていた」と鬼の首をとったかのように一斉に叩きました。美貌と言と名前に恵まれ、我が世の春を謳歌していらしたかに見えていたのですが、実は水面下では反感の種が育っていたことが露呈されてしまった現象でした。

これだけの反発を呼び起こした源は、いったい何なのか？

いくつかの原因のなかで私たちにとつても「他山の石」となるものを挙げる とすれば、SNS上での「お金持ちアピール」「美貌でお洒落アピール」「幸せアピール」の発信でしょうか。すべて暗黙の格差を前提とするものです。そこにおいて「上」にあることを絶えず発信し続けることによつて、知らず知らずのうちに、「下」に置かれる立場の人たちは傷ついています。百歩譲って受信者側が「下」とは思っていないとしても、例えば災害に見舞われたり、身辺に不幸があったりして悲しみの底にいたるような場合、そうした発信を目にしてどのような思いがするでしょうか。水面下で育っていた嫌悪の種には、フランス革命で大衆がマリ・アントワネットに向けた怒りと相通じるものがあつたのではないかと推測せずにはいられません。

さて、リッチでイケてるお幸せなあなた、格差解消が目指されるべき時代においてははとりわけ、格差に対する鈍感や虚栄心は致命傷を引き寄せることに「目覚めなさい」。恵まれた立場にあればあるほど、ライフスタイルをひけらかさず、足元を固めることに専念するのが持続可能な幸福につながるでしょう。



カトリーヌ10世 Catherine X

PROFILE

グローバル化が進む
社交界事情にも通じる。
密かな趣味は
人間観察とコスプレ。
好きな飲み物は
モンラッシュエ。
日本ではほとんど
知られていない、
ある小国の女王
とのウワサも！